



初夢

三原・瀬戸田架橋

1998年1月1日

発行(社)三原青年会議所
編集/広報委員会
三原市皆実町1331-1
(三原商工会議所内)
TEL(0848)63-3515
FAX(0848)62-1141
インターネットアドレス
<http://www.tako.ne.jp/~mjcl>

'98(社)三原JCスローガン

夢・未来・創造
LOOKING FOR TOMORROW

今月号の記事

- 1面 理事長 新春挨拶
- 2・3面 新春座談会
- 4面 第23回三原やっさ祭り実行委員長挨拶 他



1998年の新年を迎えた。本来なら「おめでとう」というフレーズで始めたいのだがなぜかその気になれない。今年は良い年です。戦後の日本経済においてエリートの名詞であったはずの有名金融機関、あるいは大手ゼネコンが相次いで経営破綻を起した。「不況」という二文字を実感する出来事である。また行財政改革の名のもと、特別減税の廃止、消費税値上げ、健康保険自己負担率アップと、国民に負担を強いる政策が次々ととられ、結果的に景気後退に拍車をかける事態を招いてしまった。この先行き不透明な時代だからこそ、私達はしっかりと現状認識をし、全ての人が共に生きることが出来る明るい豊かな未来を創造するために積極的に行動してゆかなければならない。どんな時代であっても大前提として絶対的なものがある。それは地球環境である。人間にとって住むことができない地球になってしまえば、未来を創造することは不可能である。その意味で私達は私利私欲を捨て、美しい地球を未来の子ども達へ残すために全力を尽くさなければならない。昨年末に開催された地球温暖化防止会議による提言の具現化にむけ、またみはら広域における不燃ゴミの分別収集の早期実現のため、私達一人ひとり出来ることから始めてゆくことが大切である。

新年のご挨拶



1998年度
(社)三原青年会議所
理事長
勝村 憲明

新年明けましておめでとうございます。1998年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、昨年(社)三原青年会議所は創立35周年の節目を無事迎えることが出来ました。これも一重に皆様のご支援の賜と深く感謝しております。本年も旧年に変わらず何卒宜しくお願い申し上げます。

夢をお持ちですか？

21世紀まであと3年。はたして新世紀は何色なのでしょう。思い浮かびますか。

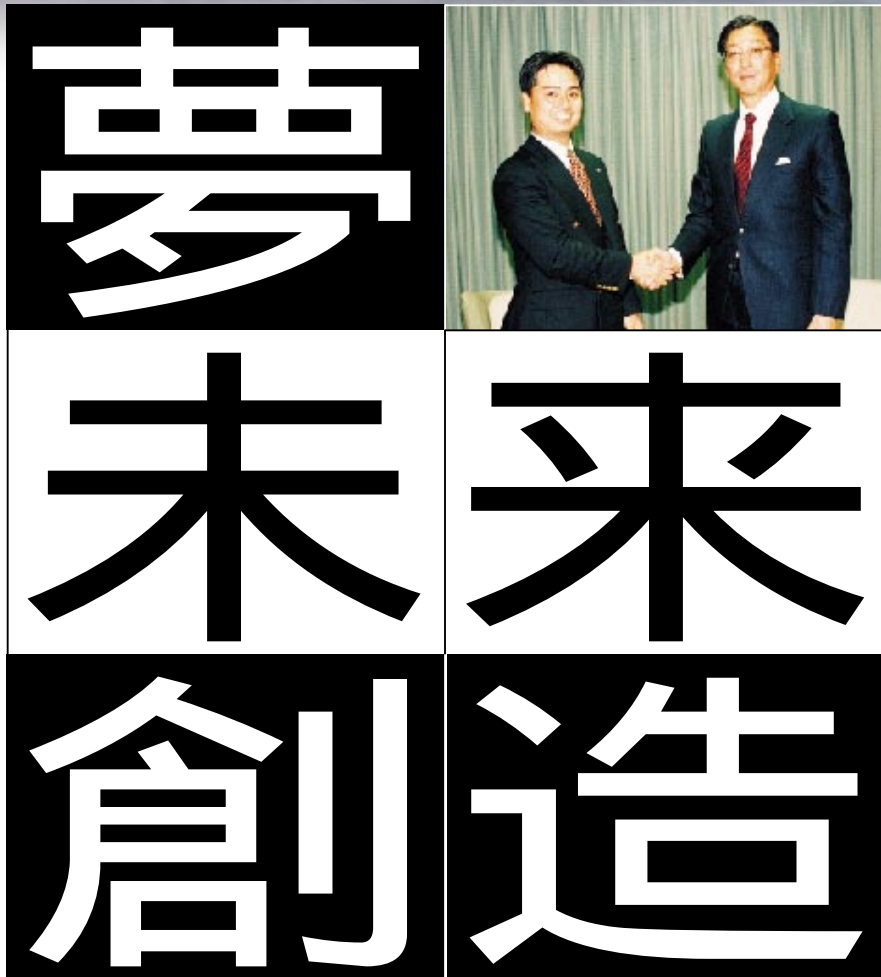
昨今、日本は信じられないような事件が次々と起こっています。戦後私たちが当たり前と思っていた常識が、本当にそうなのか試されているようです。常識が常識と思えなくなったとき、私たちは21世紀をバラ色と思えるのでしょうか。

しかし発想を逆転すれば、今までの価値観を180度転換して未来の夢を描けば、21世紀は何色にも変わって来るでしょう。

未来を夢色に

ではどう夢を描けばよいのでしょうか。私達(社)三原青年会議所では昨年度市民の皆さんに、自分達の住む「まち」へのアンケートを行いました。回答して頂いた方の8割近くが、自分の「まち」を誇れないと答えられました。とても残念なことです。

ここでちょっと価値観を変えてみま



しょう。戦後の日本は中央集権体制による画一化と言う価値観に立ってしまった結果、日本中どこかの「まち」へ行っても同じ様な「まち」ばかり...ハイ180度チェンジ!これからは地方分権による個性化と言う新しい価値観に立って、自分の「まち」をおもいきり魅力的に変えちゃいましょう。日本中搜したってこんなに素敵な「まち」なんか無い!そういう未来をみんなで夢みましょう。どうぞワクワクしてきませんか。

ない地球の上であり、私たちの生活はその地球に支えられています。宇宙船地球号の一員として地球市民の視野を持って、私たちの住む「まち」の未来を私たちの手で創造してゆかなければなりません。本年度(社)三原青年会議所は、皆さんと一緒に近未来の都市像を具現化するために「市民ビジョン」の策定に取り組んで参ります。

最後に、創刊23年目となりました本誌「やっさもっさ」の尚一層の御愛読と、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

創造してゆくこと。それが今を生きる私たちの務めです。

私たちの住む「まち」はかけがえの

